

## 資料②

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理ができる。</li> <li>・自分の体力や体調について理解できている。</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けること。(1段階ア社会参加ときまり (ア) ㉞)</li> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり (ア) ㉟)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり (イ) ㊱)</li> </ul>
<p>&lt;数学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ (イ) ㉞)</li> <li>・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(1段階Aエ (ア) ㉟)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア (イ) ㉞)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること (1段階Cウ (ア) ㉞)</li> </ul>
<p>&lt;理科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人は環境と関わり、工夫して生活していること。(2段階Aウ (ア) ㉞)</li> </ul>
<p>&lt;体育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行いや方法を理解するとともに仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりする。(1段階A体づくり運動ア)</li> <li>・運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行いや文化としてのスポーツの意義に気付くこと。(1段階H体育理論ア)</li> <li>・運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行いや文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むこと。(1段階H体育理論ウ)</li> <li>・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解すると、ともに健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。(1段階I保健ア)</li> <li>・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階I保健イ)</li> </ul>
<p>&lt;職業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階イ職業 (ア) ㉞)</li> </ul>
<p>&lt;家庭&gt;</p>

- ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。(1 段階 A 家族・家庭生活ウ (ア))
  - ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現すること。(1 段階 A 家族・家庭生活ウ (イ))
  - ・健康によい食習慣について考え、工夫すること。(1 段階 B 衣食住の生活ア (イ))
- 
- 〈道徳〉
- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A 主として自分自身に関すること 1)
  - ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心がけ安全で調和のある生活すること。(A 主として自分自身に関すること 2)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告や相談が速やかにできる。</li> <li>・仕事に対して向上心がある。</li> <li>・気持ちの切り替えができる。</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))</li> <li>・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))</li> <li>・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)</li> </ul>
<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊶)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊶)</li> </ul>
<p>〈数学〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊶)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊶)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること(1段階Cウ(ア)㊶)</li> </ul>
<p>〈職業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階イ職業(ア)㊶)</li> </ul>
<p>〈道徳〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A主として自分自身に関すること1)</li> <li>・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。(A主として自分自身に関すること3)</li> <li>・真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。(A主として自分自身に関すること5)</li> <li>・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。(B主として人との関わりに関すること7)</li> <li>・法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。(C主として集団や社会との関わりに関すること10)</li> </ul>

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の仕事の内容が理解できている。</li> <li>・仕事の段取りができる。</li> <li>・自分の周りだけでなく、周囲の様子が分かる。(シングルフォーカスではない)</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))</li> <li>・相手を見て</li> <li>・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))</li> <li>・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)</li> </ul>
<p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㉞)</li> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㉟)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊱)</li> </ul>
<p>&lt;数学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊲)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊳)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること(1段階Cウ(ア)㊴)</li> </ul>
<p>&lt;音楽&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能(2段階Aエ(ウ)㊵)</li> </ul>
<p>&lt;美術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。(1段階A表現ア(ア))</li> </ul>
<p>&lt;保健体育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Aイ)</li> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階Aウ)</li> </ul>

・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階 I イ)

〈職業〉

・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(1段階 A ア 勤労の意義 (イ))

・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(1段階 A ア 勤労の意義 (ウ))

・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階 A イ 職業 (ア) ㉞)

・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。(1段階 A イ 職業 (ア) ㉟)

・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。(1段階 A イ 職業 (ア) ㊱)

・作業や実習における役割も踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。(1段階 A イ 職業 (イ) ㊲)

・生産や生育活動等に関わる技術について考えること。(1段階 A イ 職業 (イ) ㊳)

・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。(1段階 A イ 職業 (イ) ㊴)

〈道徳〉

・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A 主として自分自身に関すること 1)

・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。(A 主として自分自身に関すること 3)

・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。(B 主として人との関わりに関すること 6)

・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていくこと。(B 主として人との関わりに関すること 9)

・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること 1 5)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の特徴が分かり、他者に説明できる。</li> <li>・自分に適した他者との付き合い方が分かる。</li> <li>・自分の適性が分かっている。</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))</li> <li>・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))</li> <li>・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)</li> </ul>
<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊦)</li> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊧)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊩)</li> </ul>
<p>〈数学〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊦)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊦)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること(1段階Cウ(ア)㊦)</li> </ul>
<p>〈音楽〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能(2段階Aエ(ウ)㊦)</li> </ul>
<p>〈美術〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。(1段階A表現ア(ア))</li> </ul>
<p>〈保健体育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Aイ)</li> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階Aウ)</li> <li>・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Iイ)</li> </ul>

〈職業〉

- ・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(1段階 A ア 勤労の意義 (イ))
- ・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(1段階 A ア 勤労の意義 (ウ))
- ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階 A イ 職業 (ア) ㉞)
- ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。(1段階 A イ 職業 (ア) ㉟)
- ・作業や実習における役割も踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。(1段階 A イ 職業 (イ) ㊲)
- ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。(1段階 A イ 職業 (イ) ㊳)

〈道徳〉

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A 主として自分自身に関すること 1)
- ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A 主として自分自身に関すること 2)
- ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。(A 主として自分自身に関すること 3)
- ・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。(B 主として人との関わりに関すること 6)
- ・友情の尊さを理解してから心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。(B 主として人との関わりに関すること 8)
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていくこと。(B 主として人との関わりに関すること 9)
- ・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること 15)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体調や感情のコントロールがある程度できる。</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))</li> <li>・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))</li> <li>・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)</li> </ul>
<p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊦)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊦)</li> </ul>
<p>&lt;数学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を見るとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊦)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊦)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること(1段階Cウ(ア)㊦)</li> </ul>
<p>&lt;音楽&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能。(1段階A表現ア(ウ)㊦)</li> <li>・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり。(1段階A表現イ(イ)㊦)</li> <li>・各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。(1段階A表現イ(ウ)㊦)</li> <li>・友達と動きを組み合わせて表現する技能。(1段階A表現エ(ウ)㊦)</li> </ul>
<p>&lt;美術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。(1段階A表現ア(ア))</li> </ul>
<p>&lt;保健体育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Aイ)</li> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階Aウ)</li> <li>・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力し</li> </ul>

たり、場や器械・器具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Bウ)

- ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Cウ)
- ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Dウ)
- ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Eウ)
- ・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Iイ)

〈職業〉

- ・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(1段階Aア勤労の意義(イ))
- ・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(1段階Aア勤労の意義(ウ))
- ・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階Aイ職業(ア)㉞)
- ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。(1段階Aイ職業(ア)㉟)
- ・作業や実習における役割も踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。(1段階Aイ職業(イ)㊱)
- ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。(1段階Aイ職業(イ)㊲)

〈道徳〉

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A主として自分自身に関すること1)
- ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A主として自分自身に関すること2)
- ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。(A主として自分自身に関すること3)
- ・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。(B主として人との関わりに関すること6)
- ・友情の尊さを理解してから心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。(B主として人との関わりに関すること8)
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていくこと。(B主として人との関わりに関すること9)
- ・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよ

りよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること 15)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族とのコミュニケーションが図れている。</li> <li>・社会的支援の仕組みがわかり利用できる。</li> <li>・自分の思いや状態を他者に言葉で伝えることができる。</li> </ul>
必要とされる教科の内容
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))</li> <li>・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))</li> <li>・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))</li> <li>・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)</li> </ul>
<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊦)</li> <li>・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊦)</li> </ul>
<p>〈数学〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊦)</li> <li>・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊦)</li> <li>・ある2つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること(1段階Cウ(ア)㊦)</li> </ul>
<p>〈音楽〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能。(1段階A表現ア(ウ)㊦)</li> <li>・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり。(1段階A表現イ(イ)㊦)</li> <li>・各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。(1段階A表現イ(ウ)㊦)</li> <li>・友達と動きを組み合わせる技能。(1段階A表現エ(ウ)㊦)</li> </ul>
<p>〈美術〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。(1段階A表現ア(ア))</li> </ul>
<p>〈保健体育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Aイ)</li> <li>・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間</li> </ul>

と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階 A ウ)

- ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 B ウ)
- ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 C ウ)
- ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 D ウ)
- ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 E ウ)
- ・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階 I イ)

〈職業〉

- ・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(1段階 A ア 勤労の意義 (イ))
- ・職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。(1段階 A イ 職業 (ア) ①)
- ・作業や実習における役割も踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。(1段階 A イ 職業 (イ) ⑦)
- ・職業など卒業後の進路に必要となることについて理解すること。(1段階 C ア)

〈家庭〉

- ・家族とのよりよい関わり方について考え、表現すること。(1段階 A 家族・家庭生活 A (イ))
- ・家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現すること。(1段階 A 家族・家庭生活イ (イ))
- ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。(1段階 A 家族・家庭生活ウ (ア))
- ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現すること。(1段階 A 家族・家庭生活ウ (イ))

〈道徳〉

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A 主として自分自身に関すること 1)
- ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A 主として自分自身に関すること 2)
- ・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。(B 主として人の関わりに関すること 6)
- ・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。(B 主として人との関わりに関すること 7)

- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。(B主として人との関わりに関すること 9)
- ・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。(C主として集団や社会との関わりに関すること 1 2)
- ・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。(C主として集団や社会との関わりに関すること 1 3)
- ・父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。(C主として集団や社会との関わりに関すること 1 4)